

運転代行サービスの利用に関する調査 東北、北関東、北陸では半数近くが利用経験あり

GfKジャパン(東京:中野区)は、全国のドライバー10,733名に対し、運転代行サービスの利用経験に関するインターネット調査※を実施し、その結果について発表した。

【概要】

- ・運転代行サービスの利用経験は23%、東北および北関東、北陸では50%近くに。
- ・利用経験者の46%が過去1年間で1回以上利用。年代が低くなるほど利用頻度は上昇

【運転代行の利用経験】

全国のドライバー約10,700名に運転代行サービスの利用経験を尋ねたところ、23%がこれまで利用したことがあると回答した(図1)。車を週5日以上運転するドライバーに至っては、利用経験は30%に上った。年代別にみると30歳代が30%と最も高く、相対的には運転経験の長い年配者よりも若い世代の利用経験が高いことが明らかになった。

エリア別にみると、東北が48%、北関東と北陸が46%と高かった一方で、首都圏、東海、近畿では10%程度にとどまった。運転代行サービスの利用経験は電車など公共交通網の充実度合いに深く関係することが伺えた。

【過去1年間にける運転代行の平均利用回数】

運転代行サービス利用者の利用頻度をみると、過去1年間で1回以上利用したことのある人は46%であった(図2)。また、このうちの半数以上は複数回利用していた。年代別では若年層の方が利用頻度が高く、20歳代以下の利用経験者では、68%が過去1年間で1回以上利用していた。過去1年間の平均利用回数をみると、利用経験者全体では1.9回であったが、20歳代以下では3.2回となった。

運転代行サービスを利用した理由(複数回答)をみると、9割が「飲酒をした時(冠婚葬祭・ゴルフ・接待を除く)」を挙げており、全年代で圧倒的に多かった。一方、「接待の時」、「冠婚葬祭の送迎時」、「ゴルフの送迎時」、「体調不良の時」を挙げた人はいずれも1割に満たず、極めて少なかった。

ゴルフ送迎パックなどの特定利用シーンにおけるサービスを全面的に訴求している事業者は現在、限られている。今後、サービス提案がどのように多様化していくのか注目される。

図1. 運転代行サービスの利用経験 (n=10,733)

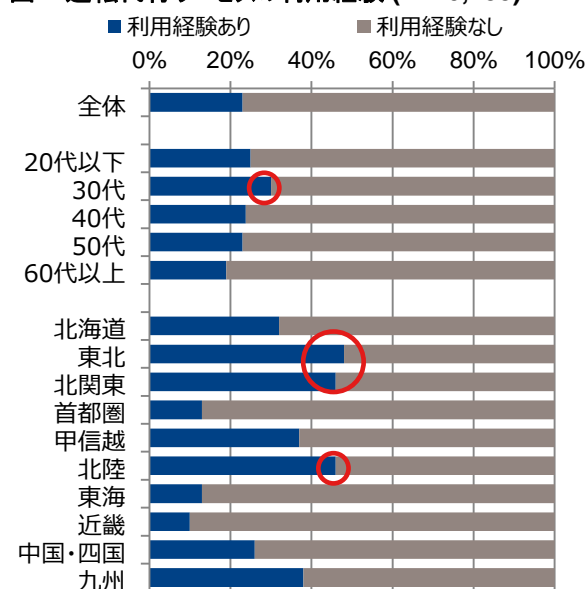
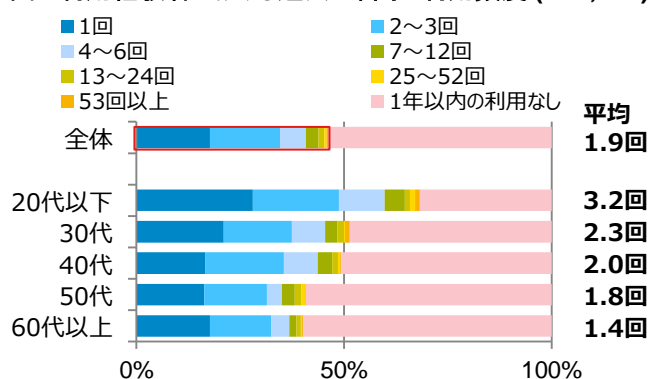


図2. 利用経験者における過去1年間の利用頻度 (n=2,493)



※「運転代行サービスの利用経験に関する調査」概要

■ 調査期間: 2016年11月7日~11月20日(計14日間) ■ 調査方法: インターネット調査 ■ 調査対象: 自動車保有者10,733名
*ノンウェイト集計 属性(性、年代、居住都道府県、車保有台数、軽自動車保有、車利用頻度)

※本リリースに関するお問い合わせ先

GfK ジャパン
広報グループ 茶野 絢子
tel : 03-5350-4623 Email : info.jp@gfk.com